



打はやし保存会

～次世代を担う保存会員の声～

きっかけは、おばあちゃんに教えてもらって「おもしろそう」「やってみたい」と思い入りました。成功したら一緒によろこんでくれたり、ほめてもらえてうれしいです。

小学生 M さん (2 年目)

私は学校で習い興味を持ちました。打ちはやしをやってよかったことは、今まで中々なかった地域の人と話す機会が増えたことです。

小学生 S さん (4 年目)

私の祖父母に近い年代の方に応援してもらい、見守っていただいているので、打ちはやしをやってよかったと思います。

S さん (2 年目)

練習は楽しかったし、発表の時には、練習の成果が出せてよかった。やって良かったことは無形民俗文化財を体験できたことです。

T さん (4 年目)

発表の場はとても緊張しますが、いろいろな人に打ちはやしを知ってもらえるきっかけになれてうれしいです。自分が教える番になれるよう練習して上手くなっていきたいと思いました。

W さん (5 年目)

笛をふくのは楽しい。

I さん (5 年目)

友達の打ちはやしの演奏を見てやってみたいと思いました。打ちはやしでは太鼓をしています。夏祭りや直会神社での例大祭でたたけてよかったです。

K さん (5 年目)

友達に誘われて、一度見学に行かせてもらったときに見たことのない楽器しかなくて興味がわいたので始めました。

K さん (5 年目)

最初は上手くできなかったけど、練習していくうちに、どんどんできることが増えていって楽しいと思えるようになった。最近、笛にかわってもいいと言われて笛の練習を始めました。

W さん (5 年目)

友達が夏祭りの時に楽しそうに打ちはやしをしていたから自分もやりたいと思いました。参加することで、地域のつながりを意識出来てよかったです。

K さん (6 年目)

太鼓を数年練習すると体が覚えるようで楽にたたけようになります。小学校の音楽発表会の際に誰よりも上手くたたくことが出来ました。

T さん (7 年目)

小学生の頃は、夜練習して、みんなと合わせて演奏するのが楽しかったです。地域のいろいろな年代の方と関わる事が出来てよかったです。

H さん (9 年目)